

して二百六十年相傳の宗社を拱手して國民に還付し、中國は塗炭の灰を免れ清室も亦た幽辱の變を免る事を得たりと太后が共和賛成の功を頌し、更らに今後清廷に筆を轉じて曰く、

去歲移宮の時太后は諸妃嬪を召して之を告げしに獨り瑜妃(同治帝の妃)は移宮の議に反對し、太后も強ふる事能はざりき、而して宣統帝即位の時瑜妃は

孝欽の遺詔を按じて宣統帝は德宗(同治帝)德宗(光緒帝)兩朝の桃を兼ね

種宗の後を繼ぐ者として幼帝保護の責を擔ひ、若し能はざれば共同して保護に

當らんと争ひし程なり、其の主張は遂に無効となりしも項軍の劍舞は其狙ふ

所沛公に在りしを知るべきなり、嗚呼此の人をして隆裕の地に立たしめば南北

の統一は恐らく此の如く易々ならざりしならん、太后は不幸にして上天せり

今後幼帝撫養の任は此人に歸せずして誰に歸せん、嗚呼斯人をして志を得せしめば他日事變窮極する所敢て輕し言

はざるべし、云々

さて太后冊立の事を憂ひて瑜妃を排せり大共和日報(統一黨派) 民國二年二月二

十二日前清隆裕太后卒す、王紀に絶

て君統終を告げ、帝は崩じ後は文母と

なり哭廟の涙乾かすて賓天の計を告

げり、孝欽垂簾淫奢を極め元氣剝喪

終に國祚を隕せり、太后は斯運に丁り

幼冲を撫し、國政を監し、辰を負ふて朝

に臨みたるに、義勇起りて宇内震駭し

太后は深く天を思ひ史冊を鑑み朱果

の實粹に漢龍の旗幟たがざるを以て、

徒らに生靈を苦めん事宗社に益なきを

知り、青躬の詔を下し讓位の文を草し

て共和を贊助せり、清室は窮竭せるを

以て民國は仁を好み優待せり

國家興亡し中年哀樂あり、美瘦相襲ひ

素賢謙かに頹る斯情亦悲むに足る云云

申報共和黨派 清太后は滿人の所謂國

を亡はせる者にして民國の所謂共和に

賛成せる者なり、半生厄々帝后として

不遇に終り、退位の後民國の強を略す

に足る、人心已に去り大勢の趨く所滿人は生存の理なきと雖も、隆裕微りせば刀に血塗らるすして統一の效を收むる事は困難なるべし

袁世凱太后の壽を祝して旬日ならざるに太后は死せり、袁世凱は舊君に篤念なる者必ず能取上賓の位を設け朝夕哭臨すべき也、云々

太后の計に依りて袁氏の攻撃を爲せり民權報(國民黨派) 昔は君主の婦にして今

は君主の母なり、婦の時死すれば天下人は百中の一に死すべかりしに、母の時死すれば可憐無知の亡國帝王哭すのみ、其の死の晩きを悔ゆ、而して

民國は半旗を掲げて弔意を表す、亡國人にして斯の如き禮を享くる者は少し此より後溥儀(宣統帝)は姑待を失ひ、

孤哀の亡國君となれり、其正途に入るを知る可らず、太后死して深く憂ふるやるべし、袁世凱は清后の死に對し外國君主の禮を用半旗を掲げ追念の意を表せり、袁氏は清后が己れ故に死せりとし心中に不安を抱けり、故に此を借て前愆を贖はんこと抑も亦隠れり

帝后の死に對しては升遐意天と謂ひ一般臣民は易容して哀悼の意を表するが例なれど、記者は之を弔ふに胡ぞ早く死せざりし語を以てせんとす、云々

依然民族反感の情の進しれるを見る民國新聞(國民黨派) 帝政倒れて共和國體成る、太后の死や一平民の死と異なる所なし、一國に同時に兩元首あるの理なきを以て優待を許し年々四百万の鉅金を耗せり、之れに酬ゆる事至れり

と云ふべし、故に其死に對するに國后の禮を以てするは民心を滋くするの感あるを免れず、而して各報紙が妄りに哀悼の辭を用ゆるは甚しき誤なり、且つ共和に贊助せりと云ふを以て賢徳と

稱するは其理由を知るに苦しむ所なり云々

太后の崩御に對する當地報紙の所論は斯の如し此を通觀するに穩和派(共和民主統一諸黨)は慎重哀悼の意を表し急進派(國民黨)は過酷冷酷なり、之れやがて當國思潮の表現にあらずとせんや、

支那人の企業能力

△最も幼稚なる實例△
△政治家として△の支那人、軍人としての支那人は世已に定評あり殆んど論評の價值を認めないが、唯だ一つビジスマンとしての支那人には世間に種々の説がある

即ち或者は矢張り駄目であると言つてゐるが或者は之を反對に支那人は商業上に於ては天賦の才能を有するものかの如く激賞して居る、然し我輩の見る所を以てするに支那人を以て概括的に商業上天才を有するとか、或は駄目だとか論結するに支那人の性格が餘りに複雑である、今少し解剖的に批評するの必要があると思ふ

△金持になる方法

に二つの道がある、一は出づるを制して餘利を積む消極的方法で即ち金を貯めて金持となる方法である、他は入るを計りて餘利を積む積極的方法で即ち金を儲けて金持となる方法である同じ金持となつたといふ結果が一つでも金持であるといふ方法の如く異なるに於て、而して金持となる消極的方法即ち金を貯めて金持となる方法は、要するに節慾の問題だから意の問題となつて、意思すら鞏固ならば如何なる低能者にも出来るが之に反して積極的方法即ち金を儲けて金持となる方法は生産的行為に従事するのであるから知の問題となつて馬鹿や近眼者流には一

日清汽船株式會社

- 一本店 東京市麩町區有樂町一丁目一番地
- 一支店 上海黃浦灘路五號 漢口英租界
- 出張所 各主要地にあり
- 一代理店
- 一航路及定期回数
 - 上海漢口線 每週四回
 - 漢口宜昌線 一ヶ月六回
 - 漢口湘潭線 一週貳回
 - 漢口常德線 一週一回



上海九江路第拾七號
株式會社 大倉組 支店 上海
電話 二八〇六

- 出張所
 - 舞鶴、沼津、京城、臺北、臺中、打狗、天津、漢口、上海、大連、北京、倫敦、紐育、漢堡、濰州

寸出来ない事となる、而して商工業なるものは即ち積極的方法によりて金持となる手段の一つであつて、ビジネスマンなるものは金持ならんが爲め商工業に従事する人であるから、ビジネスマンとして天才を有する國民は知の最も發達したる國民でなければならぬ筈である、然るに支那民族なるものは教育程度に於ても尙極めて幼稚であつて近世文明即ち知的文明の意義より見れば半開時代に屬するものであるのにビジネスマンとして天賦の才能を有するが如き道理のあらう筈が無い、成る程南洋邊を始め外國に出稼して來る外國人中支那商人は一番多産をなしているかも知れぬがそれはビジネスマン本來の面目たる積極的方法によりたるものでなく支那人は由來半獸的の簡易生活に堪得る長所を持つてから此長所を利して消極的方法によりて産を得たのである、即ち金を儲けたのでなく貯金を貯めたのである、唯だ何れの方法によるに論なく金持となつたといふ結果が一だから世人は支那民族は商業上の天才を有するかの如く思ふに至つたのであるが之れは大なる誤解である、商工業者にあらざるは已む、若も商工業者たるものが儲けて金持となりしにあらざりて貯めて金持となりしに至つては結果は同一として商工業者として失敗者、無能力者たるを免がれぬのである

△積極的貨殖の方法と消極的貨殖の方法とを他の點より觀察して更に二個の異なる特徴を擧げて見るに前者は比較的短時日中に無限の巨貨を積み得るに反し、後者は比較的長時日を経過せしに拘らず其積み得る資産は多寡の知れたる額に過ぎぬ、而して今支那民族なるものを見るに所謂華僑といふ出稼人内地居住者に論なく到底一世の富豪なるものを發見する事が出来ぬ、偶々四五の小

金持がありさしても之れは官吏として金を貯めた連中でビジネスマン社會に於ては我國の三四流富豪にすら比すべき者が無い、而して之れを以て支那人はビジネスマンの才能の甚だ幼稚なるを示す實例である、然らば今一步を進める如何にせば支那人の商工業上に於ける才幹を涵養する事が出来るかといへば先づ第一には生産的行爲に要する知を發達せしむる事であるが此外に尙重大なる問題がある、

△近世の企業形式は凡て大量生産主義である、大量生産主義であるから大資本を要する、大資本を要するから株式會社組織を必要とする、之れ近世株式會社の企業界に威力を發揮しつゝある所以である、然るに株式會社なるものは恰かも立憲民主政體の如きもので各株主は其所有株式の多少に應じて權利個數を有するに共に自己の權利を尊重するが如く他人の權利をも尊重するといふ思想を必要とする、他人の權利の尊重とは換言せば義務思想の發達したる民族であるが最も權利思想の發達したる民族であるが其義務思想に對しては極めて幼稚である、正確に言へば眞に權利を自覺して民族は他人の權利をも尊重する筈であるから即ち義務思想も發達せねばならぬ譯である、然るに支那人の方は權利思想のみ發達して居るのであるから之は眞の權利思想の自覺で無い偏狹なる自我心の發達といふ方が適當である、即ち此自我思想換言せば義務思想の低級なる事が近世の經濟界に於て支那人の常に失敗する一原因である、昨今に於ける支那の株式會社なるものを見よ、支那唯一の大會社なる招商局を始めとして一として満足なるものありや、株主會社は多數人の離出せし資本より成立するものである、而して之れが監理經營の任に當るものは義務思想の欠乏せし董事なりとせば之によりて社運

の隆盛を來すを望むは之れ砂を絞つて油を得んごするの類である

●支那の航運(上)

招商局の全部を讓渡し其の組織を新にし又た五色旗の下に太平洋航路開始の計畫ある今日支那に於ける航海業の由來及其一斑を敘述するは無用の業にあらざるべし固より其の由來を云へば主として招商局の來歴を説くを以て足れりとするに似たりと雖も支那の航運は外國人の手によりて成れるもの少からずして現に極東に支那の水面にの往來しつゝある外國船舶の多きに想到するも自然之と併説するの必要あるを以て先づ支那に於ける外國航海業の畧歴を敘し招商局の既往に及ぶに至らざる

▲外國航海業の由來 支那歐洲の直輸入貿易は千五百一十六年葡萄牙人によりて開始されたるが其年迄の支那貿易は新嘉坡、マラッカ諸港を仲次中心としアラビヤ人の帆船を以て印度波斯等の各方面に及ぼしたり而して英國對支那貿易は千六百三十七年に開始され今日之香港が貿易港として世人の注意を惹くに至りしは其後百九十七年の星霜を経て千八百三十四年英國のチベリアル卿が時の政府に向つて香港は商業上軍事上必ず獲得すべき地なりとの具申に始まり然れども此具申は其當時支那の貿易事務官たりし海軍大佐ユリット氏不賛成の爲め遂に採用を見るに至らざりしが千八百四十年に至り英國艦隊の東來と共に香港占領となり越へて三年即ち千八百四十三年に至り同港は全く英國殖民地として正式の屬土たる資格を有するに至れり

千八百四十四年即ち同地が英領となりし第一年當時に於ける出入船舶の記録を見るに船隻の合計五百三十八艘、其總噸數十八萬九千二百五十七噸なるも其の多くは帆船に係れり而して翌年に至り英國人の經營に係る彼汽船會社の創立となり香港英國間一ヶ月一回の定期航路を開始せり、然るに當時はスエズ運河開鑿以前なりしかば同運河とアレキサンドリヤの間は乗換を要し陸路旅行を爲すの不便を免れざりき

降りて千八百六十五年に至り支那に於ける汽船會社の開祖として英國人の經營に係るホンコン、カントン、エンド、マカオ、ステイムボート、コンパニー即ち香港、廣東、澳門汽船會社の創立となれり以來此會社は繼續し今日と雖も前記の諸港と西江に於ける航海に従事し居るなり、之に繼ぎ創立されたものは均し英國の會社に係るチャイナ、ナビゲーション、コンパニー即ち太古洋行にして同社は千八百六十七年上海に設けられ今や船隻六十艘、其總噸數十萬七千噸の汽船を所有し天津より安南の海防に至る沿岸揚子江の上下及マニラ溼洲に延長せる大航路を開き居れり

▲招商局の由來 招商局は千八百七十二年上海に於て創立され純然たる支那人の經營事業として最初資本金を百萬兩とし船用汽船を彼會社より購入し之を天津と上海間の航路に充てたるが支那政府の勸誘により更に毎年南方より北京に輸送すべき所謂漕米(租米)運送の獨占權を得たり而して同會社の定款に於て外國人が該會社の株券所有を許されざりしは實に特筆すべき事なり

間もなく招商局は航路擴張の大計畫あり試験的に遠く英國及桑港に迄其航路を發展せし事ありしが間もなく之を中止し今日之同社は全く支那沿岸及内河航路のみを限され居れり而して該會社は船舶三十艘、其總噸數五萬九千噸を所有せり税關報告上支那の各口岸に出入する船舶の多數は該會社所屬の船隻なりと知るべし

總代理店
三井物産株式會社



ル ヒ サ ア

資本金壹千貳百萬圓
大日本麥酒株式會社

招商局創立後五年にしてシヤンハイ、ス、テイム、ナビゲーション、コンパニ、を買収し同時に支那政府の監督を受け、時の直隸總督李鴻章との關係よりして該社が全然支那人經營の航海業として存在せし事は常に内外の注意を集むる標的となりしと同時に一面よりは國家問題として自然疑惑を招くべく種となり固より該社聘用の外國人が各課長及高等船員に從事せるは云ふ迄もなきが支那人の所有會社たるに於ては全く没交渉なり然るに招商局は幾多の變遷ありし中に就き清俄戰爭の際に平和克復の引戻しに條件として營業の保護上一時英國の會社に對し船舶全部を讓渡したる事ありしが戰局結了と同時に其條件を履行し狀態依然以て今日に及び而して同局の營業たる繁盛時代なきにあらざりしが遂に漸次敏損を續け社内腐敗又極度に達したる革命組織一新の計畫幾度か討議されつゝとなりしが南北政府成立前後よりして組織變更の議は一轉して外資借入の好個の担保品視せられ内外人の間に大問題として持上がれり昨今の問題交渉の内容に關しては詳しく第 號に記載されば茲之を省略し更らに進んで支那に於ける沿岸貿易及各航路の一般狀況を叙述すべし

北支那と獨乙貿易

去る二月十四日發行の上海獨乙報は其の社説欄に於て北支那に於て獨乙は何に於て其の貿易を擴張すべきかを論じ居れり、即ち其の大意を摘録する事とせしむ

津浦鐵道の開通

あり、即ち北支那に於て、獨乙貿易の擴張をなすに新たなる機會を與へたり、此の擴張を

なす商業上の中心點は上海(浦口經由)天津並に青島(濟南府經由)となす、上海(浦口經由)の商業的勢力圏は山東省の境界に及び而して利國驛より天津に至る線路は天津及び青島の商業的勢力圏に屬す、而して現時の狀態を以てすれば其の利益の大半は青島に歸せしめ得べし然れども濟甯州附近即ち山東省の南部は果して青島に對し商業上の利益を齎らすや否今日に於てなほ未定の事に屬す、南部山東をして獨乙の市場となし得ると否は主として獨乙商人の活動如何によりて定めらるべき也、而して德文報は左の方を獨乙商人に採用する様勸告し居れり而して該報は此等の方法を決して南山東に限らず、獨乙人が其の貿易上の發展をなすには支那到處此等の方法を採用するの要を説き居れり

米國人の方法

該報は先づ米國商人が輸入品の販賣に用ひ居れる巧妙なる方法を説明して曰はく彼等は紙巻烟草(賣葉(ビンク)、ピルズ)若くはニコト乳菓(類)及びシンガールのミン等巧妙なる廣告によりて内地に販路を擴め、且つ又た米國人の行旅商人をして内地を往來せしめ成功を收め居れり、獨乙商人は輸入品の販賣に於て米國人に比し何等誇るに足る成功を有せずなほ德文報は獨乙製商品即ち針(ニードル)、石鹼、香水、ラム、鐵器、時計、藥等の輸入を擴張せん爲め左の方法を探るの要を勸告し居れり

廣告と商標

各商品には支那小說等二國演義の如き關係せる繪を以て商標となす事、此等の商標を一切の廣告紙に印刷する事、蓋しこれ支那上下の人民をして新輸入品に對し注意を喚起せしむる最良の方法なれば也、又此等輸入品に關係ある獨乙商會は内地に其の行旅外國商人を送り獨乙品の廣告に勉め

しめ而して又た支那人をして其の代理店を開設せしむべし

△廣告費の負擔 今日雖も支那に在る獨乙商人は出来るだけ充分なる廣告方法を行ふに故障ある者なきを見るも茲に一問題あり、何人が廣告費を負担すべきか問題なり、獨乙に在る製造家は廣告は商賣地に在る代理店のなすべき事項に屬すと、然るに在支那獨乙商人は說をなして曰はく、製造家の支拂ふ手数料少許なるを以て廣告費を出すの費用を負担する能はずと、德文報は曰はく此の問題に於て決定せずんば到底獨乙商品を多量に支那に新輸入するに於て成功を望むを得ざる也

獨乙商人の輸出

輸出業に關しては獨乙商人は寧ろ成功を示し居れるを見る、青島、濟南府、天津、上海及び漢口に在る獨乙輸出業者は支那語を話し得る獨乙商人の専門家を内地に派遣し、直接生産者より産物を買入れしめ居れり

意外の故障

然るに茲に意外の故障を近時發見せり、即ち此の直接買入れに對し出来るだけ邪魔を入れ居れる者あるこれ即ちコムラドルとなす、蓋し此の直接買入れの爲め買辦は其の得べき利益を失ふ所あるを思へばなるべし、是れは買辦に於て亦た内地に人を派し暗々獨乙商人の内地に赴きたるものなせる契約を無効に歸せしめんとするの舉をなすものあり、されば獨乙の支那に於ける輸出業の擴張をなすには買辦制度の解決と相俟つことの多きを見る也、而して此の制度の解決をなすに否は獨乙商人の力量に俟たざるべからず

支那語の必要

兎に角支那に在る獨逸商人中の青年者の支那語を學ぶ事は絕對的に必要なりとす、德文報は説き更らに進んで曰はく、支那の實狀を知らんごせば居留地のみ在りては得べからざ

也、されば青年獨逸商人を支那の内地に在る獨逸宣教師の所在地に送り、内地の人民、狀況及び言語を學ぶの機會を與へしめ、而して將來此等の青年獨逸商人は内地に於て輸出の商品取扱人として行旅せしむるを得べし、彼の日本人が上海に東亞同文書院を設け居るが如きは最も理想的なるも獨逸人を始めとし他の外國人は到底之を行ふ能はざる所なりとす

支那の實狀を知るの要

要之に支那貿易に利害關係を有する外國々民は將來に於て多くの前途を有す然れども其の成功と否とはよく支那の實狀と同一し得るに否に關係するを知る、獨逸商人は此の點に於て半ば成功したりされど全般の成功を得る迄にはなほ其の前途甚だ遠達なりと結論し居れり

文苑

樊山館余辛園有詩索和依韻呈啟
王湘綺 蘭蓮
無生同詠詠芸若。又向東瀛賦大招。魚酒
响瀟聊集沫。鴻飛翔集偶相標。對門只覺
紅顏老。祭罷還看墨突高。寄語北洋休索
戰。二家併作一時豪。
奉和止齋樊山喜至之作 前人
園城豈是仲連居。得出樊籠始自如。避地
從來海濱處。下山仍寫世間書。差同伍員
逢申子。莫道交成見本初。聞道曹不知舜
禹。不勞羨秀嘆虞敷。

東京海上保險會社
明治火災保險會社
日本火災保險會社
共同火災保險會社
東京火災保險會社

上海四川路
代理店 三井洋行
支路第壹號
申込所 山口商店
(電話一八一七)
(電話三四五九)

日本上海火災保險會社
資本金 三百萬圓
上海支店
號九第A界租英海上
(番六五三一話電)

司命堪同醉。且喜康衢得共由。公貨宅與贈
洞窟請鄰成吉識。看花把酒趁遊。如今
歲暮春先至。寄語江梅少留。

奉和桂南屏前叢見贈原韻 前人
君家經學本專門。早歲登堂荷設尊。開道
蓬山搜秘笈。還從學海探真源。嶺南未隔
梅花信。湖上空餘鳥相。多謝相知肯相
訪。舊游新事好重論。

實甫送慈山泉有詩奉和 前人
黃步曾爲一夕留。酌泉仍向越。湖邊
若梅香徐。江畔菊花采自由。未得煎茶
同賞院。卻思選石到端州。君家更有廬山
瀑。無復冰堂燕翠瓠。

和陳小石立春作 前人
修蛇赴壑歲將盡。乾鵲報晴春又生。椒頰
正當添玉翠。柳條先已映青旌。辭官便似
離籠鶴。求友仍呼在谷鶯。豫祝明年共強
健。江南花事共量評。

憲法と大總統

本誌二號、三號に於て我等は憲法問題及
び大總統選舉問題に就き輿論の存する所
を報じたり、其後國會開會の期近つと
共に該二問題に關する朝野の輿論は益々
漲紛糾を來し、形勢萬變、政界混亂の機を
作りつゝあり、大總統の袁世凱氏たるべ
きは動かすべからざるか如し(前號滬上
小言參照)更に孫逸仙氏は日本より胡
廣東都督に電報して曰はく、

日本新内閣の意向を探聞するに、日本
は我國正式政府の成立を俟て第一に承
認すべきが如し、今や國會開會及び總
統の選舉期近つきたれば其の準備肝要
なり、總統には袁總統を選舉する標準
備せられ度し、袁氏の雄才偉略は世人
の認むる所にして同氏就任以來の措施
は中外の推服する所なり、願くば南方
各都都督を聯ねて同意され一方國會の

袁氏選舉に賛成を德憑せられ人心を一
致し、危局を支ならん事を望む云々
孫氏は袁氏を推して總統たらしめ一日も
早く正式政府を成立せしめんとするに決
心せるが如く察せらる、故に多少の反對
はあらざるも孫氏によりて當分反對分子を
融和して袁氏を樂ぐるに至るべきか、
而て刻下の争點は憲法の制定に干し、

(一)大總統に議會解散權の與否、
(二)大總統に議會の同意を経ずして國務
員任命權の與否
の二案が論難の中心たり、實に本案は袁
氏の主張する所にして袁氏は
余は議會解散國務總理及海陸總長の
任命權は之を總統の特別權利たらしめ
ん事を欲す、然らざれば政策一致する
事能はず、且つ近時放縱の惡習を祛除
する事を得ざればなり、之を肯せざる
は實に總統を束縛する者にして余が總
統なるを欲せざるは之に因る故に余
の總統を諾否するは一に此案の如何に
よりにて決せんと言ふ

然れども反對派(國民黨)は之を以て政府
即ち總統の專制の端を開くものと爲し、
凡て之を議會に收め兼ねて議會に強効權
を有せしめざるべからざるを爲し、
而かも此の時に當り二月二十四日北方の
主要軍官は議決し全國軍隊に通過したり、
(一)帝制の再發せざるを擔保し、
(二)人民に信仰せざらん政治の經驗有る
者大總統に選舉す、
(三)強固にして統一せる政府を建設す、
(四)人民の生命財産の安全を保護す、
此の決議一度發表せらるゝや南方輿論の
激發を來し以て袁氏の授意に出づる
ものにして再び軍人が政治に容喙し得る
もの政治の神聖を保つ事能はざらしむる
ものとし、且つ北方軍人の此の舉を排
撃し、援て袁總統を非難するに至り、憲

法問題は愈紛争を増し形勢更に混沌たり
▲憲法研究會の成立 憲法起草委員會
は參議院の開會せられざるに因り、遂に
不成立に終りたり、然れども立國の大本
は草卒の間に之を行ふ事能はざる者あれ
ば茲に憲法研究會の組織を見るに至りた
り、其の組織は次の如し(委員は前號參
照)

- (一)本委員會は憲法草定後之を國會に提
出して核議を経べし
- (二)本委員會は北京に於て組織す
- (三)本委員會の組織は參議院八人國務院
六人各省都督二人各省議會一人より成
る
- (四)委員の任期は三ヶ月とす、集合人數
が三分の一に及べば開會す、
- (五)會の經費は中央政府及び各省にて負
担す

等にして本月十日より憲法研究に着手す
べしと云ふ
其後(前號雜報參照)各省より新派せら
れ又は改派せられたる本會委員を擧ぐれば
次の如し
○江蘇、宋教仁、秦瑞珩、○江西、李安
陸、徐謙、○廣東、王正廷、湯壽潛、
○湖北、張謇、張國溶、○陝西、孫毓
筠、譚煥章、○安徽、顧維鈞、王淮琛、
○廣西、馬良、馬君武、○貴州、任可
澄、張協陸、○國務院派出委員張耀曾辭
任し該會事務員は梁鴻志、唐桂馨、
▲四政黨の憲法討論會 國民、共和、
統一、民主の四政黨より成る憲法討論會
なり、憲法問題の發生と共に兼ねて研究中
なりしが此頃更に(一)内閣を如何に構
成すべきか(二)兩院の權限は同等にすべ
きか(三)總統の國會解散權の有無(四)國
會解散權如何に行使すべきか等の主要事
項に就き討議しつゝあり、

愈紛糾し政界亂調の機を作らんとするか
如く時事に意を用ふる者之を看過すべから
ず
●江浙選出議員詳報 衆議院議
員選舉形勢は既報の如くなるか更に江浙
浙江の如しに於ける議員各黨派別を示せ
ば左表の如し

- ▲江浙選出議員詳報
- 第一區 江甯
吳榮萃 國民
方潛 國民
汪秉忠 國民
董增儒 國民
徐兆璋 國民
徐蘭聖 國民
徐潤宇 國民
雷奮 國民
雷啓甲 國民
- 第二區 蘇州
王紹鑒 共和
陳陶怡 國民
姚子驥 共和
蔣風格 國民
- 第三區 鎮江
陳經鎔 共和
劉可均 共和
茅祖權 國民
顧陳義 國民
米澤恩 國民
楊廷棟 共和
- 第四區 清江浦
吳凍 共和
楊潤 共和
朱繼之 共和
王茂材 共和
邵長鎔 共和
合計 四十名
純國民十一人 共和共和十八人 純民主
二人 跨黨九人

日本郵船株式會社

京東本社本

噸萬二十三數 噸總●雙餘十八船汽有

上海出帆
歐洲行 二週一回
米國行 二週一回
香港行 二週一回
日本行 一週二回以上

其他日本各港濠洲印度
朝鮮支那等諸航路有り

日本郵船會社
上海支店長
石井徹

南滿洲鐵道會社
大北汽船會社
大北鐵道會社
店理代

森永の西洋菓子

歐米の輸入品、
日本の製產品と
品質價格に於て
御比較願上度候

上海海寧路百號
福家洋行
上海北四川路四十號
福家
小賣部
(電話二七三七)

俞鳳韶 國民
姚勇忱 國民
杭辛齋 國民
張世楨 共和

第二區 密波

張傳保 國民
胡翔青 共和
金尚訥 國民
朱文劭 國民

傅家銓 國民
周繼濂 國民
蔣著卿 國民
田穩 國民

丁儀甫 共和
第三區 蘭谿

王烈 共和
蔡汝霖 共和
邵瑞彭 共和

第四區 永嘉
黃羣 共和
杜師業 共和
徐象先 國民

般汝驥 國民
合計 三十八人
純民十七人共和十一人純民主一
人跨黨九人

北京の中外新聞界

當地の德文報は頃日其の紙上に北京に於ける中外新聞界の現状を記し居れり今其の要を摘まんに左の如し
北京支那新聞の發達は其の表面より見れば著るしきものあり、然れども其の數量を増加したりとて其の内容の發達は得られざりしなり、民立報は曾て曰はく我國の新聞紙は人民の代表機關と稱せらるゝの價値なし、若し眞に其の聲名を維持せんと欲すれば第一に其の愚なる言論を

避けざるべからず
今や北京の支那新聞紙の数は四十有餘あり、此の内には滿清時代より存在するもの即ち北京日報、順天時報、民視報、國風日報、中國報、國光新聞及び愛國報等あり、而して舊時の内閣官報は今や政府公報と改稱せられ、官報として存在し居れり、

黃興の勢力の下に在るは亞細亞日報と民主報にして孫逸仙の勢力の下に在るは新中國報なり、袁世凱の機關紙は北京日報とす、袁世凱が新聞紙を繼續するは決して其の機關紙に一定の補助金を支持ふに非ずして、或る論文の公表をなしたる場合にのみ之に支拂をなすのみ、而して其の支拂をなす多額の支拂をなす也、梁啓超即ち民主黨の機關紙は平報也、又た國民黨の急激派は國風日報を有し、獨立派は愛國報を有す、而して愛國報は多數の讀者あり

順天時報は日本人の編輯に屬し、其の目次を見るに決して進歩したる体裁にあらざるもなほ且つ北京に於ける最もよき新聞紙たるを失はず、而して他の諸外國支那新聞紙の機關紙を有するの價値を解せざるも、如し
北京に於て發行せらるゝ外國文新聞紙は北京デリー、ニュースとジユルナル、ド、ベケン也、北京デリー、ニュースの持主は廣東人にして袁世凱の舊知なる朱洪にして、此の人は曾て青島にて發行せられたる膠州報の主筆たりし人也、北京デリー、ニュースは曾て外務部の機關紙たりしも、今や毎月支拂はれし補助金出でず全然獨立したるもの化し七百五十の購讀者を有し其の主筆を英國人ウードヘッド氏とす
ジユルナル、ド、ベケンは約二年前より發行せらるゝ佛字新聞紙にして佛露兩國の政策を助け獨乙には好情を有せず、其

の主筆は曾てコリア、ド、テンチンの主筆たりしマルセル、ヴァン、レルベルデ氏なり、而して氏に代りて天津に在るは曾て上海のレ、ゴード、シムスの主筆たりしモチヌセル氏なり
又た北京には外國新聞社の通信員多し殊に日本の新聞代表者多數に在り、就中有名な日本人の通信員は龜井、神田、豐嶋の三氏にして龜井氏は順天時報の持主、神田氏は朝日、豐嶋氏は毎日を代表す、その他時事、大和、報知各々の代表者あり、

外國人通信員中最も人望ありしはニューヨーク、ヘラルドのオール氏也、今歸國して在らず、又た、米國人としてはルーラル、アングラソン氏シカゴ、デリー、ニュースを代表し、フレージャー氏はドクトル、モリソン氏に代りてロンドン、タイムスの代表者となり、ホルトン、ブツシユ氏はロンドン、デリー、メーリ及び京津タイムスに通信を記し、彼のゴットナム、ウイール即ちレノックス、シンブソン氏はロンドン、デリー、テレグラフの通信員なり、

此等の英米人の他に獨乙人としてはシエルルシユン、フェルラーゲのサルツマン氏と東亞ロイド即ち上海德文報のドクトル、クリゲル氏に在り、
北京に外國通信員の數多きは世界各國の新聞社が支那の政治問題に重きを置く證左たるや明白なり云々

德文報の支那形勢論

當地東亞ロイド即ち德文報は支那現今の形勢につき左の如く論評し居れり今讀者のた、其の大意を摘譯する事とす
支那舊曆新年の祝賀は依然として行はれ一般人民は過去に於けると同様に之を恭賀したり、政府は最後の機會迄之を停止せしめんごしたるも、成功せざりき、
即ち人民が北京政府の命に背きたる此一事は政府の權勢の及ぶ所自から制限あるを示し得て餘りある也、
支那の人民は甚だ忍耐し得る人民也、故に内地各方面の秩序は全然保持せられ居れり云ふ能はざる今日と雖も、人民は寧ろ平然として現状のまゝに静まり居る也、而して特に注意すべきは全然穩退的態度を持して將來に期待する所ある一人部の人あるを見る事これ也此の事實は最近の選舉競争ありし際に於て明白に示されたり、即ち保守的の人民は全然選舉に關係せず、新人即ち國民黨の人々の爲すがまゝに放任して省みざりし也、されど支那の人民は今日倍依然として舊來の慣習を守らんとするもの多きを見る也、殊に古來よりの宗教上の慣習は深く人民の心裏に根柢を有し居れり、故に新思想の風潮に在るも之を除去する能はず
支那には五の重要なものありて存す曰はく天、曰はく地、曰はく君、曰はく父、曰はく師、而して此等の關係は人民に勢力を有し、人民は此等の命に服従したりし也、然るに此の五者は今や感亂せられたり、彼の北京に於ける天壇は威嚴を害せられ、天壇地壇に於ける古來の儀式は廢せられ、皇帝は退位し、孔子の教は奉せられざるに至れり、即ち五者の中父を除くは他は全然無意味となり、勿論かゝる大變革が人民全般に知悉せらるゝには多くの時日を要す、然るに今や既に之に對して救ふべきを救はんとするの會合を見るに至れり、殊に上海孔教會の如きは之を特筆するに足る、而して此の會は其の分會を支那各地に有し居れり大國民は崇高なる理想即ち一種の宗教なしには生存し能はざる也、故に支那の爲政者に對し此の根本的の眞理を忘れざるを希望せざるべからず、彼等は人民の遵奉する古來の慣習を打破するには多く

御 旅 館
東和洋行
上海鐵路
各汽船荷客取扱所
電話七六三
電話TOWA

法界呂班路三三三

純 良
愛 光 社
牛 乳

電話貳壹七五番

の考慮を費やすを要す、彼等にして一慣習を打破する事を絶對的に必要と認むるに於ては之に代るべきものを提供して行ふの要を知らざるべからず、その之に代るべきものは在來のものよりもよきものなるを要す、單に打破するのみにては何事も爲し得ざるべき也、

過渡の時代に於て支那に於て必要なるものは確固たる誠意ある真に立派なる人物に在り、此の如き人格の人物は何處にありや、支那人の道德並に宗教上の基礎を確立し得るの勇氣と熱誠とを有する人何處にありや、真に支那の將來を此の如き人物を得るべきことによりてし得べき也、此の如き人物を得るべきことは支那問題の一切のものうちにて最も深遠にして最も重要なものなるべし

紡織會社夜業問題

瑞記にては夜業を主張し之を實行し、而して老公茂にては夜業の不利を主張し居れるは前號上海紡織界の項にて報道せる所なり、然るに某氏は左の数字を掲げ、之れが批評を試みたり、

瑞記にては夜業を主張し之を實行し、而して老公茂にては夜業の不利を主張し居れるは前號上海紡織界の項にて報道せる所なり、然るに某氏は左の数字を掲げ、之れが批評を試みたり、

瑞記にては夜業を主張し之を實行し、而して老公茂にては夜業の不利を主張し居れるは前號上海紡織界の項にて報道せる所なり、然るに某氏は左の数字を掲げ、之れが批評を試みたり、

瑞記にては夜業を主張し之を實行し、而して老公茂にては夜業の不利を主張し居れるは前號上海紡織界の項にて報道せる所なり、然るに某氏は左の数字を掲げ、之れが批評を試みたり、

瑞記にては夜業を主張し之を實行し、而して老公茂にては夜業の不利を主張し居れるは前號上海紡織界の項にて報道せる所なり、然るに某氏は左の数字を掲げ、之れが批評を試みたり、

なり云々と
●支那生絲輸出高
中並に本年一月中上海港より輸出せし支那生糸は左の如し

倫敦(每包八十斤)	昨年下半年	本年正月
佛國(每包一百斤)	六九三包	四七包
佛國(每包一百斤)	一四四六二包	四五八包
印度(每包一百斤)	八三二九包	三三八包
爪哇(每包一百斤)	六七七六包	一三二包
香港地方	二三八三三包	二六九包
英屬東印度	二二二包	四包
佛國(每包八十斤)	二二二包	四包
印度及里馬	二二二包	四包
爪哇	二二二包	四包
暹羅	二二二包	四包
歐洲	二二二包	四包

長江航運船注意

在南京帝國領事の報告に據れば南京港出入本邦海洋航行汽船は從來吳淞又は鎮江に於て先づ船籍證書を税關に寄託し同稅關より發行する「リッパ」、パスを受けし初めて長江を上下することを得べく又著港の上は直に其行帝國領事館へ届出て同館發行の入港報告書を受け之を以て同地稅關へ届出を爲し出港に際しては先づ同地稅關に對し出港手續をなしたる後更に帝國領事館へ出港届出を爲し同館發行の出港免狀を受けたる後出港すべき規程なるに拘らず當業者中往々此の手續を了せざるもの、ある爲め同地稅關より帝國領事館へ右の手續履行に付き照會あり帝國領事に於て異議なき旨回答したる趣なり

上海電話交換所
社にては今回楊樹浦路のレー、ロードに新交換所を置き、これをイースト交換所となし、楊樹浦方面の電話番號を改正し、之を呼出すには、イースト何番と云ふ事となせり、今後湧泉路方面の爲め交換所を設くる準備中なりとの事なり

梁啓超氏共和黨に入る
是迄孰れの政黨にも加入せざりし梁啓超氏は

梁啓超氏共和黨に入る
是迄孰れの政黨にも加入せざりし梁啓超氏は

黎元洪、張善霖氏の紹介により今回共和黨に加入することとなり而して梁啓超氏は本月十日頃北京に赴き今後は常に共和黨本部に駐在し専ら黨務に従事すべしとの事なるが同氏の入黨は一般に共和民主兩黨合併の先聲なりと察せらる

露國軍隊の動靜
ニコルス、ウズリク、浦爾賓、哈爾濱及び浦爾賓、ハロウルク兩線の交叉點より當地德文報の來信によれば露國西比利亞第一、第二、第四各聯隊は三月初旬支那邊疆に何時にても進軍の準備をなし居るべき旨の命令に接し、各士官の家族は已に露本國に歸國の旅費を交付せられ、又支那との境界線附近の軍隊も亦同様の準備をなし居り、恰かも戰端近々開始せらるゝが如き觀ありと

英國軍人の徒步旅行

英國陸軍大佐ジョー、バレイラ氏は去二月十七日福州より徒步上海に來り三月一日又々北京に向け徒步旅行を繼續すべし、同氏は一昨年北京を立出し、西比利亞鐵道にてオムスクに赴き、イルラス河を下りトルキスタンに向ひ、一年有半の徒步旅行の間ズレガリア、東部トルキスタン、西藏、甘肅、四川、雲南、貴州、湖南、福建の各地を視察せり、上海滞在中は上海の英國總領事フレージャー氏方に客となり居たり

北京の政府 酬勤留學生派遣

北京政府は今回革命に功勞ありたる年少有爲の士を拔擢し、一は其の勤功に酬む兼ねて教育に貢獻せん爲め各國に留學生

北京政府は今回革命に功勞ありたる年少有爲の士を拔擢し、一は其の勤功に酬む兼ねて教育に貢獻せん爲め各國に留學生

其の留學國別は次の如し
國名 八名 省名 八名 人名 八名
佛國 汪兆銘 廣東 戴天仇 浙江
陳憲才 四川 朱廣儒 四川
朱廣才 四川 褚重行 浙江
曾仲明 福建 楊德大 浙江
俞恩淵 浙江 張承樵 湖南
張承燭 湖南 王傳熊 江蘇
梁定蘇 廣東 梁定吳 廣東
鄭林 廣東 鄭灼 廣東
歐慶初 廣東 朱葆康 江蘇
朱帝煊 四川 張君謀 浙江
張群 四川 蔣志修 浙江
楊乃榮 浙江 蔣志修 浙江
周延勳 浙江 陳南 浙江
張傳焜 浙江 朱家驊 浙江
白耳義 陳劍虹 廣東 浙江
日本 李朋 安徽 李宏 浙江
方漢成 浙江 傅夢雲 浙江
佛國派遣女學生 曾麗 福建 方君英 福建
福建 陳冰如 廣東

會審衙門の體刑問題

近來上海租界槍劫案日に多く治安を防禦するを以て上海領事團は之を防護する目的より從來の刑例を改正し更らに體刑を復活し監禁苦役を畏れざる凶横の無賴漢を取締らんとし已に三月一日より會審衙門に於て之を實行するに決せしが支那人側は之を聞くに齊し憤慨一方ならず上海交渉使の手を徑て領事團に交渉し同時に外交部に其の不法を訴へ撤回を圖るに至りしが支那側の反對理由は革命前の野蠻なる處置なりとし思惟するにありて現に支那新聞の如き之に關し非常に痛論せる有様なり爲めに領事團は一に北京外交團の訓電を待つと云ふある由なり然れども領事團は未だ外交團よりは何等の訓電に接せず今尙進捗行衙門の中にありと、要するに此問題は會審衙門に甚大の關係あり

近來上海租界槍劫案日に多く治安を防禦するを以て上海領事團は之を防護する目的より從來の刑例を改正し更らに體刑を復活し監禁苦役を畏れざる凶横の無賴漢を取締らんとし已に三月一日より會審衙門に於て之を實行するに決せしが支那人側は之を聞くに齊し憤慨一方ならず上海交渉使の手を徑て領事團に交渉し同時に外交部に其の不法を訴へ撤回を圖るに至りしが支那側の反對理由は革命前の野蠻なる處置なりとし思惟するにありて現に支那新聞の如き之に關し非常に痛論せる有様なり爲めに領事團は一に北京外交團の訓電を待つと云ふある由なり然れども領事團は未だ外交團よりは何等の訓電に接せず今尙進捗行衙門の中にありと、要するに此問題は會審衙門に甚大の關係あり

濟生堂大藥房

胃腸肺病救世丸
原因療法救世丸
濟生堂大藥房
上海虹口西華德路文路角
電話 一二五六

濟生堂大藥房

神經ボルニバル
濟生堂大藥房
上海虹口西華德路文路角
電話 一二五六

濟生堂大藥房

滋養ヘモグロビン錠
濟生堂大藥房
上海虹口西華德路文路角
電話 一二五六

濟生堂大藥房

婦人諸症 壯婦丸
濟生堂大藥房
上海虹口西華德路文路角
電話 一二五六

濟生堂大藥房

消化 タカチアスターゼ
濟生堂大藥房
上海虹口西華德路文路角
電話 一二五六

り支那及歐米人の共に研究すべき事柄にして明治三十八年十二月に爆發せし會審衙門事件の二の舞せざるなきやを保す可らずと云ふ

梁秘書長曰く 總統府秘書長梁士詒氏は滯滬中往訪の人に語りて曰く

目下の急務は秩序の整頓即ち中央と地方の融合及び各地に紛起せる土匪の討伐を行ひ早く人民をしめて業に安んじ疲弊せる元氣を恢復せしむるに在り、而て之を爲すは地方官に其人を得ざる可からず、地方官の任命は之を長官より委任するを得業とす斯くせば其の餘の政事も漸次順調に向ふべきなり、又現時多數政黨各一方に時立して新聞紙上にて盛に甲論乙駁互に論難しつゝ、あるも之れ決して各黨主要人士の首先して争ふものにあらず只事を好む未派の徒が喧噪するに過ぎず領袖の人々は依然慎重の態度を持ち眞面目に國事を憂ひ居るなり、

蒙藏問題は政府も困り居れり、一般に征庫とか征藏とか主張し居れども要するに虚聲に過ぎず、何とされは軍費、軍器乏しく俄かに實行する事難ければなり、露國公使は露蒙協約の承認を通り居れども沙汰の限りに非らず、政府の財政は非常に困難にして之を救ふの道は借款によるの外なし、何とされば財政窮乏の結果各省より仕送り絶わればなり、而し六國借款は例の通り行き届き爲り、交渉困難なれば袁總統は六國銀行を解散し別に他の方法に依らざる事を主張し居れり、現本財政部庫の預備金は仍四五個月を支拂ふに足るべし、

憲法問題に干する大總統の意向は國會の同意權を削除して之に嚴重なる監督權を與へ行政を敏活ならしむるに在るもの、如し世間袁總統と唐紹儀の不和を言ふも決して然らず、現に重要事件有る毎に必ず唐氏と相談して決する有様に余も今向唐氏に面會せんと思ひ居れり、余が南歸に就て種々の臆説を試むる者あれども之れ取るに足らず、然れども廣東の政事と關係あるは事實なり、即ち胡都督、陳軍統等と土匪の討滅、軍隊支配の件、及秩序の回復等となり、余は未だ秘書長の職を辭せず楊士琦、阮忠樞諸氏が任命せられたりと言ふも事實にあらざる、余今回行はるに實に家父古稀の祝賀旁々久しく昔むきたる郷國の風物に接せんとする外何等の使命をも有せず云々

支那の財政

六國借款は未だ履行の今日、六國財團が支那の國庫債券引あてになしたる前貸金三十萬磅返済期、二月二十八日に到達したるも、支那政府は到底之れを支拂ふ能はず、加之ならず、右の外前貸金十五萬磅を三月九日迄に返済するの要あり、且つ又た白耳義借款百萬磅亦た三月十四日を以て返済せざるべからず、當に之に止まらず露國公使は賠償金の未拂金七十萬有餘磅の支拂を迫り居れり、

佛國露國と共に支那に對し、其の權利を主張し、今や又た獨六國財團より手を引かんとす傳へらるる歐洲の財界は又た六國中の個々財團の單獨の運動の自由を許さざる状態に在り、支那は果して此の際如何にして其の財政を鞏固たるを得べきか、空理空想のみにて之を處理し得ざる也、支那は支那人のみにて誠實に國事の改革をなすを、實質上諸強國に示し、協力一致、意義あり基礎あり統一あり誠實なる政府と政治機關を具備し得るを實際に現はすの外之を救ふの道なかるべしと云ふ、

中華銀行總會

中華銀行は二月二十日滬南久大馬頭に於ける同行内に在りて株主總會を開催し年五分の配當案及同行移轉(福州路)の件を決せり、及同行が中華商業儲蓄銀行の名目を以て貯蓄事業を兼營するの件は同行規則に従つて實行する事に決定せり尙同行昨年度(民國元年一月一日より同十二月三十一日)に至る。收支計算は左の如しと、

△各種收入、十萬四千八百三十三兩△各種支出五萬〇五百五十四兩△差引純益五萬四千二百七十九兩、

因に同行規定預金は三十七萬九千七百三十一兩、又新任查帳員、陳一齋、王寶崙同董事、謝綸輝、朱葆珊、周金箴、貝潤生、王一亭、朱五樓、顧馨一、李永裳、郭竹樵

伯林より

二月二日 K、M、生

前略借て中華民國も中々の多端、賢兄の活動舞臺愈擴く御満足の事と存候、借款問題も衰ふるに、蒙古問題も片付かず、御後で電信技手の小生も用が多くて仕合度候、拔擢の金貨屋なご所謂アウツ、サイダーは當國にも時々有之「クルツプ」邊りも餘程臭いとの下馬評を耳に致居候、但し此語は近頃の出來事にても無之が未だ愚圖々々して居る模様候、

巴爾幹問題は今が見頃、明三日夜七時、ドカンと一發アドリヤノブルの一角で轟き渡る筈に候、當地迄も聞るかも知れずと樂み居り候、列強も今日午後の倫敦會議で何と聯合の處置に出づべしとの評あれども明夜の破裂は免れ難かるべし獨也三國協偕の中に油の如く浮び居り候、此所最も苦しき境遇に候、去る二月二十二日の土廷に對する聯合通牒も一處に記名をしながら英、佛、露の三國が亞細亞土耳其其の分割問題を相談する時に

公私人息消

●總統府秘書長 梁士詒氏は嚴父古稀壽祝賀の爲め家族同伴歸省の途津浦鐵道にて南京を經去月二十四日着滬アストルハウスに投宿し春寒煖、張雲、黃興の諸名士と重要政務の打合せをなし同二十六日英船デグアナ號にて郷里廣東に向け出發したる、三月中旬頃までには北上すべしと云ふ、

●大倉組上海支店長 河野久太郎氏は商用の爲め去る二十五日發後九にて一時歸朝したり、

●王國運氏 湖南の碩儒王國運氏は久しく滯滬中なりしが、去月二十五日發歸湘したり、同氏は支那知名の學者にして袁世凱氏國史館總裁に任せし之を謝し郷國衡州船山書院に老後を送るべしと

●橋本榮治氏 はこれ迄臺灣銀行東京出張所副支配人なりしが今同行上海支店副支配人に榮轉し近日來滬の筈

●石波邦之丞氏 日清汽船會社社長は本日長江地方より回滬し歸朝に途に上る筈

●王芝祥氏 陸軍上將にして國民黨領袖なる同氏は、江西事件調停の爲め津浦

御旅館

各派船荷客取扱所

上海西華德路五號

豐陽館

電話一〇六〇

振替口座福岡三七〇四



●次號豫告

本紙は發刊以來非常なる好評を博し當地を始め日本及び支那各地に多くの讀者を得たり、第五號は來る三月十日發行す購讀申込所

上海虹口文路 申江堂

上海虹口文路 (電話二九九)

上海虹口文路 日本文堂 (電話三三八〇)

鐵道にて二十七日南昌に到着南下し、二十二日着滬滯留二日の後出發したり、同氏今回の行により久しく中央と江西との間に紛糾を重ねし民政長問題、軍器問題等も無事落着きすべしと云ふ。

●北京駐在米國公使カルフン氏 夫妻は二月二十八日津浦鐵路を経て着滬同日出帆の獨乙汽船デルフリンガ號にて歸國の途歐洲に向けて出發したり

●香上銀行上海支店員 フホンス氏は青島同銀行出張所主任となりたり

●北京駐在英國公使 サー、ジョン、ジョルダン氏は來る六月上旬賜暇歸朝の途に上るにつき英國外務省よりベイルビ、エフ、アルストン氏代理公使に任せられ來る五月中來任の豫程なり

●孫逸仙氏 は本日東京を辭し横須賀及吳の兩軍港其他重要都市を巡遊したる上來る二十三日長崎出帆の天津丸にて歸國の豫程なり

●駐滬獨乙總領事 曾て上海に副領事たりし現駐天津獨乙領事クニツベング氏は駐滬總領事に昇任すべしと獨乙フランクフォルト報は記せり

●新駐獨乙支那代表者 前外交次長顏惠慶氏は去三月一日上海に到着し近日其の新任地獨乙に向ふ由、

●唐紹儀氏 は目下鄉里廣東に歸省中なるが今次參議院議員に當選し終に之を委任する事を承諾せる由

●秋元海軍少佐 久しく内地旅行中の當地駐在秋元海軍少佐は去る二月下旬杭州到着本月下旬歸滬の筈なり

●水野梅曉師 先般來滬滬中の水野梅曉師は去る三月一日當地出立本社の遠藤麟太郎氏全伴菅陀山へ戻りたり、遠藤氏は來る七日か八日歸滬の筈、

●宗方太郎氏は 本月十一日頃上海出發一應郷里熊本に赴かれ四月一日頃より朝鮮滿州等を経由し北京の政況を視察し

同月下旬歸滬の筈なりと

●メンカリニ氏 曾て支那海關に在り日本人中に交友多きメンカリニ氏は今次西班牙國公使館附商務官に任せられ、二月二十八日來滬當地に事務所を置く由

●駐上海米國總領事館に在りし副總領事ゲール氏は今回辭職し去る三月一日、副總領事官にシムン會社支那總代理店の一員となれり

上海港 出入統計

二月二十一日より同二十七日に至る一週間中上海港に出入せし内外汽船の總計は百九十五隻、出入噸數は四百三十三萬四千九百四十九噸、出港船舶は百六十六隻、十八萬九千四百三噸に上る其詳細は左表の如し、

●入 港		●出 港	
英國	三〇	英國	四四
日本	二四	日本	二一
獨逸	一〇	佛國	一〇
米國	一	獨逸	一〇
奧地利	一	露國	二
支那	一九	露國	二
露國	二	支那	二
和蘭	二	和蘭	二
合計	八九	合計	八九
		噸數	四四
			七四、五〇八
			三、七四四六
			三、五五八
			三三、九三九
			二、五〇三
			五、七九四
			三、八四三
			二、五三六八
			一、一七二
			七、七二

上海港 輸出統計

二月二十一日より同二十七日に至る一週間中に於ける、上海港と、日本本土、朝鮮台灣、大連間貿易の形勢は左の如し、

品名	數量	和蘭	合計
晒金巾	七〇〇担	一〇六	一八九四〇三
豆類	五〇〇担	一九五	三五四三三二
白米種子粕	二、五〇〇担		
白米類	二、五〇〇担		
絹布類	一八一担		
爛繭殼	二〇五担		
棉實粕	二、八八五担		
棉花	一四、一六九担		
麻皮	三三九担		
アンチモニ	一、九一六担		
各種獸油	一、四一六担		
剛毛	二一担		
棕鐵緯類	三三八担		
苧麻織緯	一、五六八担		
山羊毛	五八担		
紙類	七三担		
漆	二九〇担		
兔皮	五四〇担		
麩子	一三、五四二担		
葡萄酒	三、二九担		
葡萄酒種子粕	四、五三担		
葡萄酒	一三、九三八、〇〇個		
雞卵	二六八担		
乾蠶	一、〇三三担		
野菜種	一、四八七担		
器械油	一、七半担		
銅錠	一、五担		
樹脂	一、九担		
野菜種子粕	一、七〇六担		
木油	一一一担		

キツド皮 四担
靴底皮 一担
獸骨 八、二五担
各種棉布類 一七担
野蠶子 八〇担
靴底皮 一七担
屑絹 一七担
鹿皮 七五担
陶器 二一〇担
銑鉄 五三担
チーク木片 一九、三二〇担
四、一六五キログラム
古棉布 三八六担
綿紙 三六担
白吳絹 七五担
白吳絹 二〇〇反
絹 二〇〇反
麻織緯 一八〇反
二八三担

晒木綿 五〇〇反
各種煙草 一担
紙卷煙草用紙 五〇〇反
白寒冷紗 二〇〇担
紙類 二九八担
芥子 四二担
棉花 四八担
落花生 九九担
瓜子 五〇五担
葉煙草 五〇五担

(四)大連への輸出
生粗布 一、一六九〇反
雲齊類 二七〇反
綿布類 七、一六反
絨金巾類 三〇〇反
精製苧 二二四担
紙卷煙草 四担
柑橘類 二担
紙 七〇担
書籍 三七担
細斜紋布 二二〇反

●大小ダイヤモンド
●寶石入金細工種
●右大々の安價販賣仕候、敝店は顧客各位に對し誠實一意充分の責任を以て貴需に應じ申候尚ほ御買取りの品にして御好みに叶はざりし節は其月間は代價の五分引可申候雖も多大の御損害なく御引取可申候

上海虹口天津路第拾壹號
貴金屬寶石 清水洋行
賣買及び質 (電話二二一〇)

●最極上等ゴム輪人力車
●右は熟練なる職人の手により車體の最新式堅牢無比なるは勿論塗方等も充分注意致し居り申候尚ほ附屬品全部取揃へ有之候間何卒御用命被下度候

上海虹口天津路第拾壹號
清水洋行
賣買及び質 (電話二二一〇)

日民強報
支那國民黨の機關新聞の一にして、最新式の編輯法を以て、支那の各方面の報道を詳細に記述し、消息靈通、發行紙數甚だ多く、日本人にして支那の事情を知るには座右に欠ぐべからざる新聞紙にして又た廣告に甚だ有効なり。

發行所 上海南京路八號
民強報社 (電話三七八〇)

後二五夜行 前二四普通

後三三普通

後四五特別急行

前二五普通

前二五普通

前二五普通

後二九特別急行

後二五夜行

前二五普通

廿五日 一三〇〇 二二〇〇 三三〇〇
廿六日 一四〇〇 二二〇〇 三三〇〇
廿七日 一六〇〇 二二〇〇 三三〇〇
銀塊は續々改鑄せられつゝありと雖も輸出爲替少く手元は増加の一方向を以て市中金融引續き緩漫裡にあり

各種商況

▲外國棉(至二月二十七日一週間)
現物相場は引續き軟弱にして二十日に於てはミッドリングス六片七十四と報せられしも二十七日に至りては六片八十五に引返しを示し五六月物は六片五十一の唱へなり、ベンガルは變りなく五片八分七を保持し居るも埃及は少しく低落して九片八十五と稱せらる

更に絛育市況を見るに先物は前週同様十二仙六十を保持し居るも直物は稍引續り三月十二仙二十、十月(新棉)十一仙五十八の入電也、マンチエスター市場變化なく氣配強硬

▲支那棉(同上) 市況強硬にして相場も多少引縮りを見せ通州二十五兩、上等機械棉二十四兩上海二十三兩七十見當の唱へに在り

▲日本綿絲(同上) 爲替相場の關係上日本綿絲は左表の如く二兩乃至二兩半方の引縮りを見せ週中の取引高二千四百俵に達せり

前號	本號	比較高
最高(只) 一、二〇〇	高 一、一五〇	
最低(只) 一、一七〇	安 一、一〇〇	
最高(三) 一、二〇〇	高 一、一五〇	
最低(三) 一、一七〇	高 一、一〇〇	
最高(五) 一、二〇〇	高 一、一五〇	
最低(五) 一、一七〇	高 一、一〇〇	

東京大阪及神戸等に於ける政變騷擾の爲め内地市況は多少の影響を免るゝ能はず三月二十七日の公定相場は當百五十圓六十錢、中百五十圓九十錢、先百五十圓五十錢なりと云ふ

最近の報告によれば日本より細番の支那輸出は近時大に増進を示し目下一ヶ月の平均輸出高は三十手、三十二手、四十二手及瓦斯絲六十手及八十手を合し三千俵以上にするの有様なれば千九百七年度に於ける細番の輸出高年一萬五百俵に過ぎざりしもの千九百七年度に於ては三萬六千五百俵と註せらるにせしめられ、而して斯く細番の支那輸出増加に於ては即ち支那に於ける織布の發達及支那人が夫れだけ發達せざるを要するものなり

▲印度綿絲(同上) 爲替相場下落の爲め掛々しき取引を見ず、輸入業者は相場の引上をなさざるべからざる地位にある一方客筋は前述の見込込立す一寸形勢見送りの状態に於ては週中に於ける取引高は僅々三二十五俵に過ぎず

▲支那綿絲(同上) 爲替相場下落に連れ矢張り引縮りを見せあるが取引掛々しからず週間の出来高五百俵なりと聞く、因に既往五個年間に於て上海より寧波に再輸出せし綿絲の數量は左の如しと云ふ

印度絲	英國絲	日本絲	上海絲
一九二〇年 三、五七三	二、五三三	三、五三三	七、五三三
一九二一年 二、六九二	一、六五二	二、六九二	三、六九二
一九二二年 二、八三三	一、八三三	二、八三三	三、八三三
一九二三年 二、八三三	一、八三三	二、八三三	三、八三三
一九二四年 二、八三三	一、八三三	二、八三三	三、八三三
一九二五年 二、八三三	一、八三三	二、八三三	三、八三三

▲海産物 ▲昆布 產地益々高く手堅く保合の三兩四匁見當に在り荷約三万担なり ▲錫 極上十三兩八匁、普通十三兩五匁六分、下等十二兩八匁取引なし
市況活潑ならず取立て云ふべき取引なし
▲鱈 在荷殆んどなく爲めに五兩迄引縮りを見せたるが着荷後は何れ四兩七匁八匁見當を唱ふべし ▲鮭 市況活潑にして今回三兩を以て千余箱の取引を見たり在荷

約二千箱 ▲鯨 四兩を以て約千五百担の取引ありたり鹽鱈なき爲め賣行き殊に好し ▲海參 品少く横濱物にて担八十二三兩より八十五六兩長崎物は四十五兩乃至五十兩を唱ふ ▲貝柱 四十二兩より四十五六兩見當にして在荷少なし
▲倫敦銅相場 一月末以來漸次下押し銅相場も最近の入電によれば二月十八日二十日及二十六日の六十三磅七志六片を最低とせし二十七日には六十四磅二志六片に引き戻し電氣銅は依然六十八磅台を保持の姿にあり之等の事情より見れば目先特別の理由發生せざる限り當分此邊の所に居居りたま、推移すべきかと觀測せらる最近の入電左の如し

▲洋傘 爲替の變動の爲め前週より少しく高價を呈し五二兩、二匁處にあり賣口は先づ可なり良好なり
▲帽子 賣行尚掛々しからずと雖も來月に入ればボツ、商内を見るに至るべし安物唐草帽は打二兩八九匁より二兩五匁を唱へ林投帽は打二兩より二十五兩五分は打三兩見當にあり上海は大抵二十五兩より三三兩のもの賣れ行きよく安物は漢口方面に需要多し

▲時計 近年珍らしき活氣を呈しあり價は爲替變動の爲め自然騰貴すべく五匁位の高價を叫ぶに至るべしと觀測せらる、目下の所引續き十八兩乃至二十四五兩見當の持合なり
▲菜種油 日本内地相場不引合につき買控への姿なる爲め今や菜ツキは一兩七匁五分迄下落し菜ナシは一兩九匁六分の所を唱ふ
▲豆粕 大連物は一兩一匁見當、漢

口物は一兩九匁見當にして前週に比し大差なし
▲精實粕 今週中約二万担の商内あり油坊の唱相場は三元十五仙以上を望み、在荷は各油坊を合して一萬担内外なり
▲大豆 爪哇、廣東、汕頭への輸出多く日々の取引高二千俵に上るが一方浦口漢口物の絶へず入荷する爲め二兩七匁六分見當を保持居り尙目下漢口浦口物を合して上海在荷は約六七万担に上るべし
▲小豆 全然取引なし値段は三兩八匁を唱ふ
▲菜種 引續き強氣にして上物は四兩一匁無物は三兩九匁を唱へ賣手は賣溢り氣味にあり上海在荷は三千担なりといふ
▲落花生 舊正月十五日迄は全然商内なかりしも近頃南支那向き荷動多く月初より大分輸出ありしと思はる、而して値段は皮ツキ蒙ナシ共七弗二十仙より八弗迄の間にあり
▲石炭 日本炭は其後市況堅く爲め上海市場も之が影響を蒙り炭價の騰貴を見越し賣控の姿にあり一方買手側は運賃高きと爲替相場の劇變せし爲め自然買進まず云は本週は脱合の鹽梅を以て了れり而して運炭船は船腹拂底の結果雇入困へ難し前週通り若松上海間壹萬六千仙を唱へ居るが北支那の解冰に際し前途頗る強氣配を呈せり

▲砂糖 砂糖市況引續き保合、精糖は各會社其後手合なし、最近値段は太古精糖六兩一匁、日本精糖六兩一匁の相場なり、爪哇角砂六兩三匁、爪哇赤更八號九號邊にて五兩より五兩一匁支那赤糖四兩四五匁見當なり
瓜哇ラインのチバダス號入港、白糖一万俵赤糖一万五千俵程入荷ありたり

本紙掲載廣告の料金は行數の多少掲載期間の長短に依り特に御相談可致候間御用の方は端書又は電話にて御一報被下度候
文路二七七日本堂轉交
週報上海
發行所 春申社 (電話三〇八三)

土地撰定 家屋撰定 室內裝飾 委託買賣 和洋家具 競賣仲次

新谷洋行 (電話三七三)

編輯兼發行人 上海總路路二七五 佐原篤介
印刷人 上海海浦路二七六 蘆澤多美次
電話一八三三六
發行所 上海文路路二七號 春申社
電話三〇八三

本紙定價(前金)

一部	銀十仙	金十錢
一月(四部)	銀四十仙	同四十錢
三月(十二部)	銀一百二十仙	同一百二十錢
半年(二十四部)	銀二百四十仙	同二百四十錢
一年(五十部)	銀四百五十仙	同四百五十錢

振替口座 福岡四七〇五番
支那上海 春申社 佐原篤介
大正二年三月三日

